



武蔵野市議会議員

# 桜井夏来 Report

vol.5

ACT FOR OUR FUTURE



3 2023 月号

**PROFILE** 1974年 吉祥寺南町生まれ / 市立第三小学校・中学校卒業 / 1993年 桐朋高校卒業 / 1997年 私立沖繩大学中退 / ソフトウェア会社勤務 / 2001年 衆議院議員川田悦子秘書 / 2007年 武蔵野市市民協働サロンスタッフ / 2021年 市議会議員選挙に当選 / 2022年 会派「小さな声を活かす会」結成 / 現在 建設委員会・外環道路特別委員会に所属



## 武蔵野市令和5年度予算が成立しました

### 令和5年度予算は729億円規模

2月20日～3月27日までの36日間の会期中、武蔵野市議会の令和5年第1回定例会が開かれました。この毎年最初の定例議会の重要な役割として、翌年度の予算の審議があります。今回も6日間に渡る予算特別委員会が開かれ、私を含め12人の委員が集中的な議論を行って、令和5年度の予算案を審査しました。

令和5年度予算は総額で729億2200万円、令和4年度と比較すると3.3%増で、過去最大規模となります。ただその背景には、物価高騰で市の事業コストが上昇している事情もあり、決して大盤振る舞いの内容というわけではありません。委員会の議論の中でも、手堅く無駄のない予算であるとする見方が支配的でした。

### 環境分野をリードする取り組み

こうした手堅さを評価する声の一方、一部の委員からは、積極的な事業展開が少ないとして

物足りなさを訴える意見もありました。しかし私自身は、金額的には大きくないものの、環境分野で他自治体に先駆けた先進的な取り組みが打ち出されるなど、決して「守り」だけの予算ではないという印象を持っています。

特に、家庭での再生可能エネルギー普及を図る「家庭向け再エネ電気切替協力金支給事業」や、地球温暖化への優れた対策を表彰する「むさしのゼロカーボン大賞事業」など、市民と一体になって脱炭素社会を目指そうとする試みは、先に行われた「気候市民会議」の成功とも合わせ、武蔵野市が環境分野をリードする未来を期待させるものです。

### 平和が続く未来をつくる予算

市はこの令和5年度予算を「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 平和が続く未来をつくる予算」と位置づけています。

ここ数年間、コロナ禍に加えてロシアによるウクライナ侵攻、エネルギー危機、物価高騰と、

私たちの社会はいわば非常事態下に置かれてきました。令和5年度はこうした状況を抜け出し、持続可能な未来を再構築するリスタートの年にしなければなりません。そうした方向性に合った内容であることが認められ、令和5年度予算は賛成多数で可決・成立をしました。

高齢者総合センター 大規模改修工事実施設計	4,484万円
第六次子どもプラン武蔵野の策定	968万円
市立保育園における 医療的ケア児受入体制の整備	1,616万円
多文化共生推進事業	275万円
吉祥寺本町一丁目23番街区 利活用に関する検討	300万円
消防団第2分団詰所の改築	1,272万円
武蔵野公会堂改修等 基本設計関連事業	2,810万円
住民投票制度確立の論点整理	304万円
家庭向け再エネ電気 切替協力金支給事業	413万円

令和5年度予算の代表的な新規事業（抜粋）



## 「武蔵野市子どもの権利条例」が制定へ

令和5年第1回定例会では、大きな注目を集めていた「武蔵野市子どもの権利条例」が賛成多数で可決されました。この条例は、世界196の国と地域が締結する国連の「子どもの権利条約」（日本は1994年に批准）の理念に基づき、子どもたちを大人の従属物としてではなく、一人ひとりの人間として尊重する社会を実現するために制定されるものです。

この条例を巡っては、一部の層から「子どもが自由とワガママを履き違える」という批判が繰り返されてきました。中でも条文に盛り込まれた子どもたちの「休息する権利」について、「ズル休みを誘発するのではないか」とする根強い声がありましたが、これは子どもたちが抱

える苦しさを理解しようとし、偏狭な視点であると言わざるを得ません。昨年の小・中・高校生の自殺者数が500人を超え過去最高となるなど、子どもたちの生きづらさの解消は待たなしの状況にあるのが実情です。

今回の条例制定にあたっては、当事者である子どもたちからも多くの声が寄せられました。総数1600件あまり寄せられたパブリックコメントのうち1000件近くを子どもたちの声が占めた他、中・高生世代によるワークショップ「Teens ムサカツ」が開かれ、活発な議論が交わされました。その成果は、条例の前文に盛り込まれた「わたしたち子どもは」を主語とした文章に結実しています。

わたしたち子どもは、未来の希望となる種で、無限の可能性や能力があり、それらを発揮することができます。わたしたちは、平和に生活することができます。さらに豊かで充実した人生を歩むことができます。わたしたちは、おとなと同じように意見を言い、話し合うことができます。わたしたちは、自分らしく生きるために、自分で考えて行動することができます。自分の夢を、自由に考え決めることができます。（前文抜粋）

この「子どもの権利条例」が、子どもたちの生きづらさを解消し、自分らしい平和で豊かな人生を保障するものとなるよう、様々な取り組みに結び付けていきたいと思っております。

地域の課題への皆様の  
声をお聞かせください

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町3-7-7 ☎ 0422-90-7349 📠 090-6744-9572  
✉ mail@sakurai-natsuki.jp 🌐 https://sakurai-natsuki.jp 🐦 @sakurai\_0422





## 吉祥寺パークエリアのまちづくりの動き

### 動き出した南口のまちづくり

令和5年度予算の中には、「吉祥寺パークエリアまちの将来像策定に向けた地域展開」「吉祥寺駅南口周辺交通体系検討」「武蔵野公会堂改修等基本設計関連事業」といった内容が盛り込まれました。これらはいずれも吉祥寺駅南口に広がるパークエリア（駅南口から徒歩3～4分圏内の吉祥寺南町1・2丁目、御殿山1丁目地域）のまちづくりに関わる内容です。

そもそも吉祥寺駅南口は、駅前パークロードでのバスと歩行者の輻輳や、井の頭通りの信号待ち歩行者の滞留、沿道建物の老朽化といった長年の課題を抱えています。しかし商業地として繁華な地域であることから、改めてのまちづくりが難しく、時間だけが経過していました。

そうした中での今回の予算編成は、いよいよ

武蔵野市として吉祥寺駅南口の「面的整備」に本格的に取り組む姿勢を示したものです。

### 鍵を握る交通体系の再整備

これらの事業の中で鍵を握るのは、「吉祥寺駅南口周辺交通体系検討」です。

市では、パークロードへのバス進入を解消すると共に、井の頭通り沿いに集中するバス停を移設してゆとりを確保するため、平成12年に南口駅前広場（現在スモーキングトレーラーのある一角）の整備を都市計画決定しています。ただし、現在の計画では広さに限りがあるため、移設可能なバス停は1箇所のみとなります。こうした状況を踏まえ、バスやタクシーの事業者と協議をし、改めて交通動線整理の検討をしようというのが同事業の目的です。

### 鍵を握るのは交通体系の再整備

一方、「将来像策定に向けた地域展開」は、より広範な市民を対象として、まちの将来像立案のための周知・機運醸成を図ることを目的としています。

ただ、交通体系の検討が現実的な制約と向き合いながら進める話であるのに対して、市民の想いは実現の可能性を超え、どんどん膨らんでいく傾向があります。今後、両事業をタイミングよく進めないと、ボタンのかけ違いが起きて、せっかくの市民の想いが空回りに終わってしまう懸念もあります。

私自身も吉祥寺を地元とする者として、市民へのわかりやすい情報発信に努め、武蔵野市の顔としての吉祥寺のまちがより魅力的なものとなるよう、努めていきたいと思えます。

桜井夏来



## 市議会議員1期目の活動を振り返って

4月23日の統一地方選挙に合わせて武蔵野市議会議員選挙が行われます。市議会議員の任期は原則4年間ですが、私は2021年10月の補欠選挙で当選したため、1年半の在職期間の活動を基に審判を仰ぐことになります。

この間、新人議員として慣れない世界に戸惑う場面も多々ありましたが、市民目線を大切に活動してきました。就任直後は総務委員会に所属し、「武蔵野市住民投票条例案」を審議する10時間以上の議論に携わりました。2022年4月からは、建設委員会の副委員長となり、まちづくりを巡る課題に取り組んでいます。また外環道路特別委員会、議会広報委員会としても活動してきました。

一般質問では福祉、子育て、まちづくり、平和など様々なテーマに関する質問を行いました。土地開発公社の土地売買情報のすみやかな公開や、有機フッ素化合物汚染に関する水源井戸ごとの調査などは、質問後に市の取り組みとして実現しました。

また議会の外においても、コミセンとの協力や各種市民活動への参加、市民要望への対応など、これまで以上に地域の方々との繋が

りを深めました。特に南町5丁目のコミュニティ花壇復活など、地元の活性化に多少なりとも貢献できたことは大きな喜びです。

今後も、さらに中身のある取り組みができるよう研鑽を重ね、市民福祉の向上に寄与していく決意です。

### これまでに取り上げた一般質問テーマ

▶ **令和3年第4回議会** 吉祥寺東部地区における市と民間事業者の土地売買取引について / 「子どもの権利条例」の理念に基づいた市政の推進について / 「武蔵野市平和の日」10周年と市の平和事業のあり方について

▶ **令和4年第1回議会** 「多文化共生社会」実現に向けた取り組みについて / 市の施策に関する市民周知や意見聴取について

▶ **令和4年第3回議会** 武蔵野市における旧統一教会系団体の活動について / PTA活動とその現状に対する市の認識について / 水道事業における有機フッ素化合物への対応について

▶ **令和4年第4回議会** 災害時における地域コミュニティとコミュニティセンターの役割について / マイナンバーカードの申請及び交付状況とその問題点について / 住民投票条例に関する不正確な報道とその影響について

▶ **令和4年第1回議会** 武蔵野市における産業振興・事業者支援の取り組みについて / 武蔵野市における福祉・介護分野の取り組みについて / 武蔵野市における空き家対策の取り組みについて



外環道路特別委員会によるトンネル視察の様子(左)と、南町5丁目に復活したコミュニティ花壇(右)